

- 本ソフトではプラグイン機能が使えます。ただし、使い方の制限がいくつかありますので、よく確認されて利用ください。

(サンプルファイルが入っていますので、本ソフトから各ファイルが起動します)

- 本エディタにない機能やデータを、プラグインメニューから使えるようにできます。授業等で本ソフトのプラグインを活用していただくと具体的に次のようなことができます。

- ① 別のソフトを本ソフトのプラグインフォルダに入れておけば、プラグインメニューから起動できる。
- ② 授業等で個別の説明文を作成しておきプラグインメニューから起動して閲覧させることができる。
- ③ 事前にネットリストを作成、保存しておけば、生徒たちがプラグインメニューから簡単にシミュレーションを実行できる。

又は、本ソフトで作成したネットリストを下記ファイル名にしてPLUGINフォルダに保存させることにより、簡単にシミュレーションを実行できる。(Pspiceがインストールされていれば、直接解析を始めます。)

## ● プラグイン実装手順

- ① プラグインするソフト(\*.exe)、文章(\*.txt)、(\*.pdf)、(\*.html)やシミュレーションファイル(\*.cir)等を準備する。
- ② ファイルの種類によって、下記に示したファイル名にする。

- exeファイルの場合は **appli\_1.exe** ----> (プラグイン①メニュー)
- PDFファイルの場合は **appli\_2.pdf** ----> (プラグイン②メニュー)
- HTMLファイルの場合は **appli\_3.html** ----> (プラグイン③メニュー)
- SPICEネットリストの場合は **appli\_4.cir** -----> (プラグイン④メニュー)
- テキストの場合は **appli\_5.txt** ----> (プラグイン⑤メニュー)
- 画像ファイルの場合は **appli\_6.jpg** ----> (プラグイン⑥メニュー)
- ワードファイルの場合は **appli\_7.doc** ----> (プラグイン⑦メニュー)
- エクセルファイルの場合は **appli\_8.xls** --> (プラグイン⑧メニュー)
- パワーポイントファイルの場合は **appli\_9.ppt** ----> (プラグイン⑨メニュー)

- ③ 準備したファイルをPLUGINフォルダに保存する。これで完了です。  
本ソフトのプラグインメニューから起動できます。

